

「北海道における教員育成指標」改訂の要点

1 前文等

「教員の学びの姿」「教員育成の考え方」の明確化

①教員の学びの姿（策定の背景及び趣旨 P1）

- ・環境の**変化を前向きに**受け止め、教職生涯を通じて**探究心**をもち、新しい知識技能を**学び続け**、子ども一人一人の学びを最大限に引き出し、子どもの主体的な学びを支援する伴走者となること
- ・専門性を高めていく営みを自覚しながら、誇りをもって、**主体的に研修に打ち込む**こと
- ・『『個別最適な学び』と『協働的な学び』の充実を通じて、『主体的・対話的で深い学び』を実現するという観点において、**教師の学びは子どもの学びのロールモデル**となること

②教員育成の考え方（P2）

- ・**主体性**が尊重された**心理的安全性**の下、教師同士の学び合いを通して**資質能力向上や個性等の伸長**を図る
- ・「現場での経験」と多様な研修の機会を効果的に組み合わせ、**個別最適に学び**を進める
- ・学校課題に対応した**協働的な学び**を組織全体で行い、学び合う同僚性の下で資質能力を高める

③指標策定の目的（P2）

- ・本道の**全ての教育関係者が、教員等の資質能力について目標を共有**する
- ・指標は、資質能力の目安を示すものであり、人事評価制度の評価の規準や教職としての到達目標ではない

2 学校管理職の育成指標

「目指す学校管理職像」の明確化

「アセスメント・ファシリテーション」の観点で、現行指標の内容確認

①目指す学校管理職像（P4）

- ・深い教育的愛情や豊かな教育経験、確かな職業倫理を基に**リーダーシップ**を発揮する管理職
- ・**学校ビジョン**を具現化し、教育活動の質の向上・教職員の資質能力の向上を図る体制整備を進める管理職
- ・家庭・地域と連携・協働し、人的・物的・財政的・情動的な**資源を効果的に活用**する管理職

②「アセスメント・ファシリテーション」に関わる資質能力（P22）

- ・主に「**課題等を把握する力**」「**経営ビジョンを構想する力**」「**学校・園内外の協働体制を構築する力**」「**人材を育成する力**」「**保護者・地域等と協働する力**」において、「アセスメント・ファシリテーション」に関わる具体的な資質能力が示されていることを確認

〔アセスメント：教育データや校内外の情報について整理・分析・共有〕
〔ファシリテーション：校内外の関係者の相互作用により学校の教育力を最大化〕

3 教員の育成指標

「教師に共通的に求められる資質能力」「本道の教員として特に重視する資質能力」の明確化

①教師に共通的に求められる資質能力（P7）

- ・国が示す「教師に共通的に求められる資質能力」の5つの柱（**教職に必要な素養、学習指導、生徒指導、ICTや情報・教育データの利活用、特別な配慮や支援を必要とする子どもへの対応**）に基づき、再構成

②本道の教員として特に重視する資質能力（P7）

- ・北海道教員育成協議会での議論を踏まえ、本道の指標としての独自性を明確にするため、**「教育的愛情」を最上位で示す**
「子ども理解力」について、「**生徒指導**」とは別に**資質能力を設定**するなど、子どもを主体とした学校教育を実現するために必要な資質能力を強調